

# 1 横浜工場の屋上菜園による 生物多様性への貢献

—住友重機械モダン株式会社—



菜園の様子

住友重機械モダン株式会社では横浜工場の屋上に菜園を設置しています。きっかけは1994年横浜第1工場建設時に、工場立地法の緑化率に対応したことが発端でした。その後、緑化への貢献のため、事務所、食堂、会議室へ鉢植木を設置することから始まり、屋上菜園へと発展しました。

当初は工場の緑化率確保が目的でしたが、4階は食堂と会議室があり、食堂の目の前がきれいな緑で覆われていることから、次第に4階が社員の憩いの場所となり、また会議室へ入るお客様からも好評をいただくようになりました。毎年7月下旬には、社員の家族を招いてここでビアパーティーを開催しています。社員の子供たちも楽しみにしており、社員や家族との親睦に大変貢献しています。

さらに2015年度からは屋上菜園づくりも始め、2015年度はスイカ、ゴーヤを植えました。2015年度の社員交流会では、ここで育ったスイカで子供たちによるスイカ割りも行い、割ったスイカは皆でおいしく食べました。2016年度は、なす、しそを植え、実は社員へ提供しています。芝のメンテナンスは、冬場は不要ですが、夏場は芝が伸びるのが早いので、3週間ごとに芝刈りを行い、整備しています。

今後も芝生の整備と屋上菜園に取り組んでいきます。



芝の整備



スイカ割り

社員交流会

# 2 コストと環境にやさしい熱電供給設備が 稼働開始

—Sumitomo (SHI) Cyclo Drive Germany GmbH—



新熱電供給装置



新設備前で集合写真

2015年10月、ドイツSCG本社工場(マルクト・インダストリアル)の暖房・発電設備(Combined heat and power plant (CHP))が新しい装置に刷新されました。以前の古い装置は燃料にオイルを使用していましたが、新しい装置は天然ガスを使用します。同時に既存のボイラ設備も燃料に天然ガスが使用できるように改修され、トータルで燃料コストの削減とともに、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を年間220トンも削減し、環境にやさしい設備となっています。

今回導入した発電装置は50kW/hの発電能力があります。これはSCG本社工場で使われる約10%の電力に相当します。また、発電時に発生する熱を回収して暖房用に活用することでエネルギー効率は89%にもなります。

新設備の設置工事には3カ月を要しましたが、ドイツの寒い冬が始まる前に設置が完了し、電気と暖房を当工場に供給してくれています。コストと環境にやさしいこの設備を大事に使っていきたいと思います。

# 3 住友重機械精機販売株式会社北海道営業所・ 札幌サービスグループの生物多様性の取り組み

—住友重機械精機販売株式会社—

住宅地の中にある住友重機械精機販売株式会社北海道営業所・札幌サービスグループでは、道路に面した境界部分に花壇をつくり、花を植えています。以前はスギナが増え草むしりが大変な状況でしたが、環境への取り組みとして皆でスギナの根を抜き、土を入れ肥料をまき花壇をつくりました。7月にはラベンダーがとてもしっかり咲き誇り、人々の目を楽しませてくれます。

当初は美観の向上が目的でしたが、「花のある職場」への取り組みにより、社員のモチベーションも向上し、現在は営業所のメンバー全員で積極的に手入れしています。北の大地にある拠点であり、秋から翌春までは緑のない季節になってしまうため、短い夏場により気持ちの良くなる環境づくりを目指し、今後も取り組みを継続していきます。



花壇